

## 「残したいもの・伝えたいもの」 小物入れ パネル

21番 橋本 裕仁

### <制作意図・コンセプト>

テーマが「残したいもの・伝えたいもの」ということで、卒業後の自分、そして子、孫と、後生に残り永く使えるものを制作しようと考えました。永く使えるものとして生活の中に取り入れたい小物入れと、居住空間に潤いを与えるパネルの2点を制作しました。

### <小物入れの製作工程>

木地作り・・・本体、引き出し、扉

木固め

切粉付け2回

錆び付け2回

錆固め

スグロメ塗り2回

呂色塗り2回

摺り漆

蒔絵

### <パネルの製作工程>

木地作り

木固め

切粉付け2回

錆び付け2回

錆固め

スグロメ塗り2回

呂色塗り2回

摺り漆

蒔絵

### <感想、考察>

小物入れとパネルの制作を通して、率直に漆が楽しいと感じました。木地に何度も漆を塗り重ねていくごとに光沢が出てきて、一つの作品として仕上がっていく様子がみてとれました。そして漆は一日に何度も作業することはできないので、一日の休みが重くなる反面、手間をかけて制作したこの作品に愛着がわいてきました。

製作工程の中で大変だったところは二つありました。一つは木地作りです。構造は至ってシンプルですが、組み立てのときに、各部品の寸法が少しずれていたりして全体が歪んでしまったり、引き出しの取っ手の穴をあける前に引き出しを組み立ててしまい、穴開けに苦労しました。

二つ目はかぶれでした。今までは少しだけしかかぶれなかったからと、甘く見ていたら、制作の後半で痛い目を見ました。

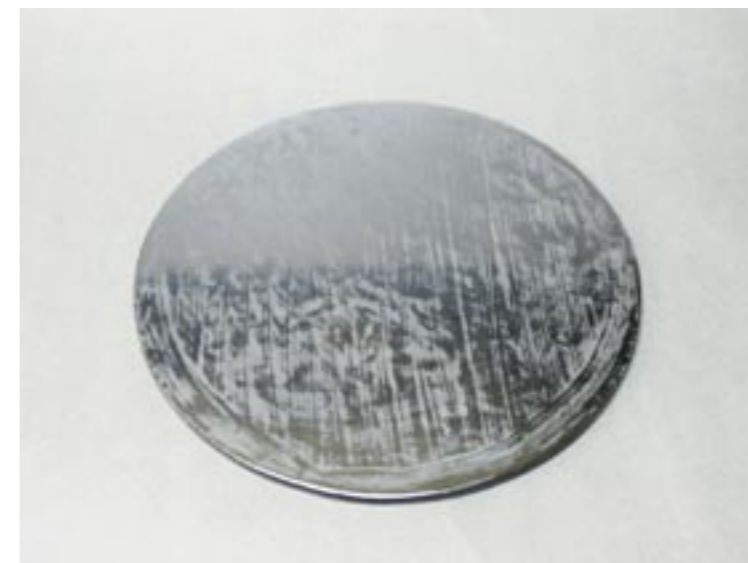


小物入れ  
(276×226×372)

・開いた状態



・閉じた状態



蒔絵パネル  
(直径300)